

住民自らの行動に結びつく
水害・土砂災害ハザード・リスク
情報共有プロジェクト
第7回全体会議 資料-4



ワンコイン浸水センサ実証実験について

浸水被害の把握

ヘリによる調査

リアルタイム性

- ・悪天候時に調査不可
- ・夜間調査不可



痕跡調査

機動力

- ・広範囲の調査不可
- ・多数の人材確保
- ・専門の技術者が必要



【既存の技術】

ワンコイン浸水センサ

センサの特徴

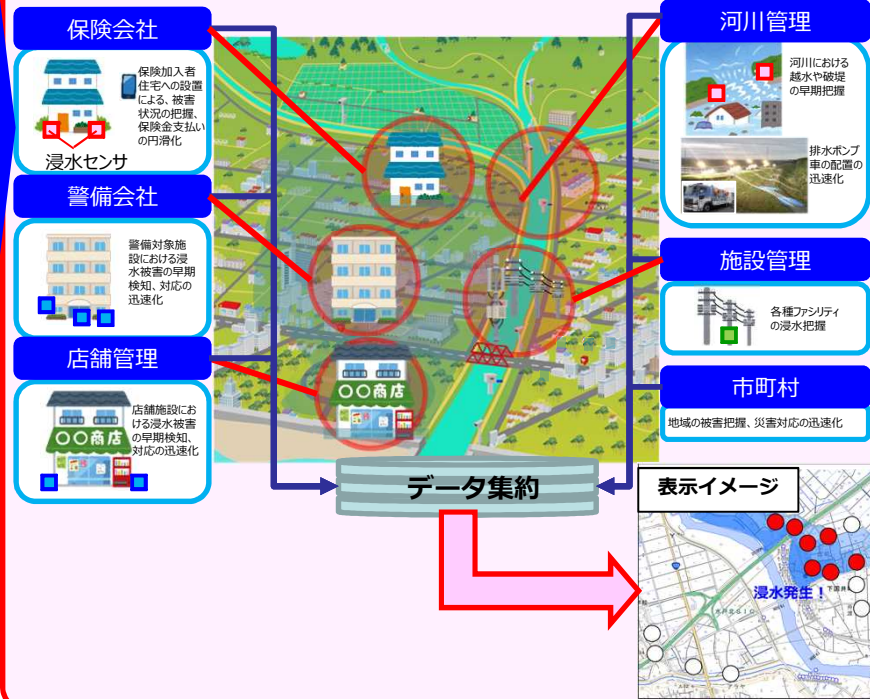
小型、長寿命かつ低コストで、堤防や流域内に多数の設置が可能な浸水センサ



- ・小型
- ・低コスト
- ・長寿命

官民連携による浸水域把握イメージ

堤防の越水・決壊などの状況や、地域における浸水状況の速やかな把握のため、浸水センサを企業や地方自治体等との連携のもと設置し、情報を収集する仕組みを構築



【技術開発】

活用イメージ

【災害時】

- ・早期の人員配置
- （道路冠水による通行止め 避難所の開設 等）
- ・ポンプ車配置の検討

【復旧時】

- ・罹災証明（自治体等）の簡素化・迅速化
- ・保険の早期支払い
- ・災害復旧の早期対応

など

スケジュール

令和3年11月～

- ・実証実験準備会合を開催
- ・実証実験に向けてセンサの仕様や実施内容を検討・確定

令和4年3月～

- ・実証実験参加企業の公募

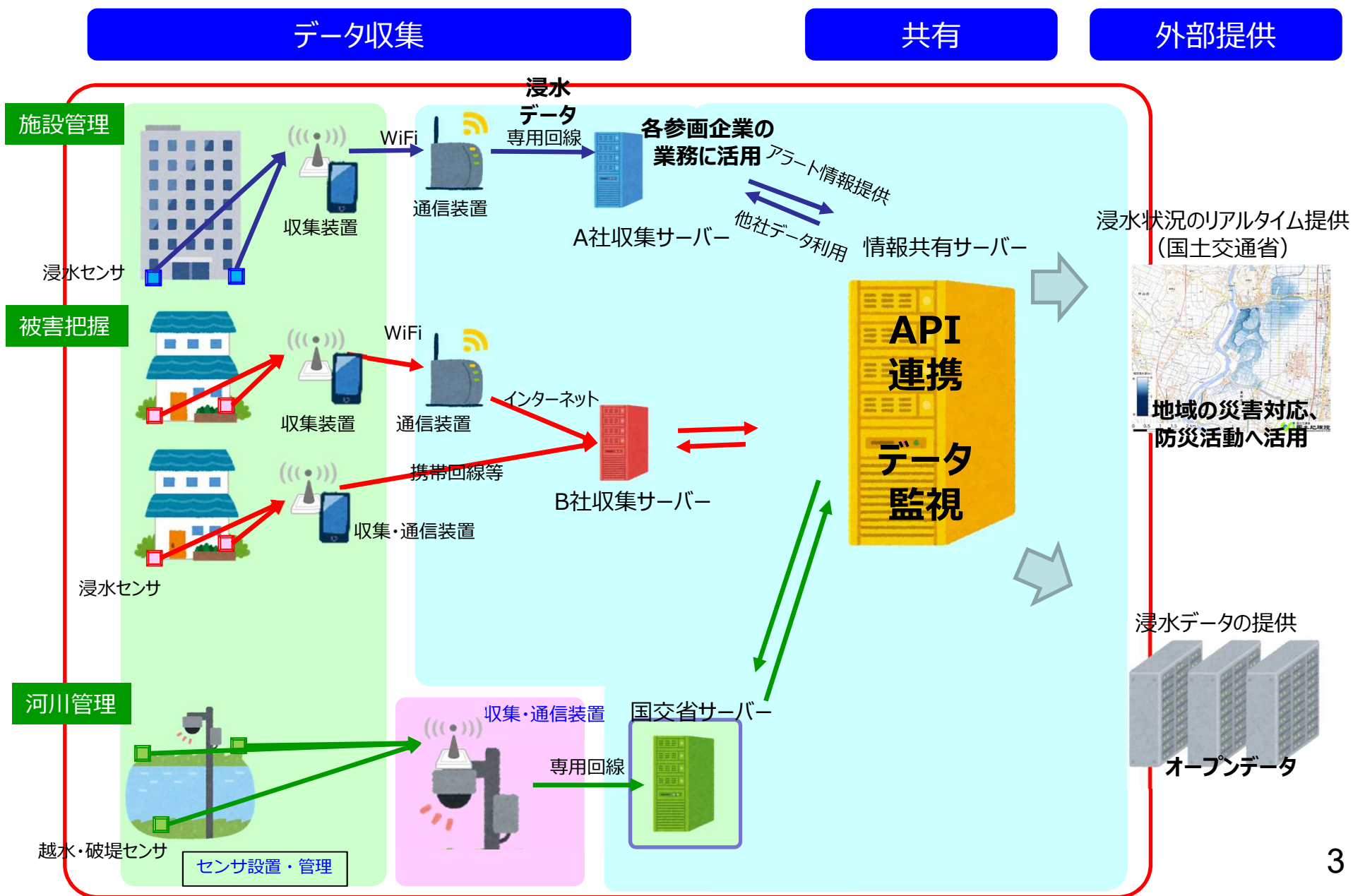
令和4年出水期以降～

- ・モデル自治体において、国・自治体・民間企業等にてセンサを設置し、実証実験を開始
- ・必要に応じ、エリアを拡大

(実証実験モデル自治体)

- 愛知県岡崎市
- 兵庫県加古川市
- 兵庫県南あわじ市
- 徳島県美波町
- 佐賀県神埼市

浸水センサによる情報収集のイメージ



実証実験モデル地区について

□ 令和4年度は、以下の5地区において実証実験を実施する

- 岡崎市（愛知県）
- 加古川市（兵庫県）
- 南あわじ市（兵庫県）
- 美波町（徳島県）
- 神崎市（佐賀県）



これらの地区における内水の頻発エリアや浸水想定区域に、**国・自治体・民間企業等**で浸水センサを設置し、実証実験を行う。

各モデル地区での実証実験参加企業等

実証実験モデル地区	参加企業等
岡崎市	<ul style="list-style-type: none">・NTTインフラネット(株)・京セラコミュニケーションシステム(株)・損害保険ジャパン(株)・中央大学研究開発機構・あいおいニッセイ同和損害保険(株)
加古川市	<ul style="list-style-type: none">・オプテックス(株)・京セラコミュニケーションシステム(株)・中央大学研究開発機構・東京海上日動火災保険(株)
南あわじ市	<ul style="list-style-type: none">・京セラコミュニケーションシステム(株)・ワンコイン浸水センサ実証実験共同体
美波町	<ul style="list-style-type: none">・ニタコンサルタント(株)
神崎市	<ul style="list-style-type: none">・(有)ジョイックス交通

【意見交換】

- 今年度の実証実験結果を踏まえ、来年度以降もセンサ設置数やモデル地区を拡大するなど、実装に向けて実証実験を継続予定です。
- 行政機関、民間企業、個人など、流域のあらゆる関係者で浸水センサを設置しデータを共有することにより、例えば各設置者は以下のような様々な効果を得ることが可能となることを想定しています。
(例)
 - ・ 行政機関：避難指示等の判断、排水ポンプ車配置等の迅速な災害対応等
 - ・ 公共インフラ管理者：施設の浸水状況把握、迅速な災害対応
 - ・ 警備会社：警備対象施設の浸水被害の早期検知、対応の迅速化
 - ・ 保険会社：被害状況の把握、保険金支払いの円滑化
 - ・ 個人店舗：店舗施設における浸水被害の早期検知、対応の迅速化
- 浸水データの将来的な活用・共有方法などについて、メディア関係者の立場からさらなる連携のご意見や提案などあれば頂きたい。